

健康日本21推進本部が初会合

事務次官、全省挙げた取り組み要請

厚生省が省内に設置した「健康日本21推進本部」の初会合が二十一日開催された。冒頭挨拶した本部長の羽田事務次官は、地域における医療機関などの協力を得つつ、全省を挙げて総合的に取り組むよう関係部局に要請。意見交換では、部局ごとに目標達成への決意表明がなされた。

四本柱で運動推進

同省では左掲の通り、(1)多様な経路による普及啓



関係部局が一堂に会した初会合

健康日本21の今後の推進について

(厚生省資料より)

- (1) 多様な経路による普及啓発
 - ・マスメディア等による広範な伝達手段による国民への情報提供
 - ・厚生省ホームページの立ち上げ
 - ・健康日本21全国大会の開催
- (2) 推進組織の整備、地方自治体・関係団体等における取り組みの支援
 - ・健康日本21推進本部の設置 (厚生省)
 - ・健康日本21推進全国会議の設置 (厚生省)
 - ・健康日本21推進協議会の設置 (健康・体力づくり事業財団、日医等)
 - ・都道府県(市町村)連絡協議会の設置
 - ・地方計画の策定
 - ・人的資源の開発 (ボランティアの育成等)
 - ・健康文化と快適なまち創造プラン事業 (健康文化都市)の推進
- (3) 各種保健事業の効率的・一体的事業実施の推進
 - ・老人保健事業・保険者の保健事業の連携
 - ・労働安全衛生法に基づく保健事業との連携
 - ・学校保健事業との連携
 - ・関係省庁連絡会議
- (4) 科学的根拠に基づいた事業の推進
 - ・健康日本21情報システムの構築
 - ・調査研究の推進 (健康づくり対策の評価、新たな手法等)
 - ・中間評価・最終評価

発、(2)推進組織の整備、地方自治体・関係団体等における取り組みの支援、(3)各種保健事業の効率的・一体的事業実施の推進、(4)科学的根拠に基づいた事業の推進の四つの柱に沿って今後健康日本21を推進していく方針だが、(2)の取り組みの母体となるのが「推進本部」「全国会議」「推進協議会」の三つの組織。

このうち今回設置された推進本部は、省内の関係部

局の連絡調整を図る機関で、本部長(事務次官)、副本部長(保健医療局長)、本部長(関係幹部)、幹事会(関係課長)で構成されている。

実施方策の企画立案や各地域で事業を活性化させるための調整・検討を行う機関と位置づけられているが、いずれも規模や開催時期はまだ決まっていない。

地域の医療機関や保険者との連携を

一方、全国会議は、都道府県を支援するため、学識経験者、医学界、健康関係団体などの代表者により、運動推進のための方策を検討する機関、また、推進協議会は、地域における各種団体を支援するため、健康・体力づくり事業財団、日医等医療関係団体、国保中央会、健保連などの代表者により、運動の効果的な

推進本部の初会合で挨拶した羽田氏は「健康づくり」といって、ともすると『スローガンは結構だけど、そううまくいきまスカね』と斜に構えて言われがちだ。お題目だけで済ましていこうということではなく、実践に結びつくような体制をつくり、少しでも健

康で長生きできる高齢社会を実現しなければならぬ」と強調。健康日本21が今後の高齢社会の施策の大きな柱として国民の間に定着していくために、地域における医療機関や保険者の協力を得つつ、全省を挙げて総合的に取り組むよう関係部局に要請した。

意見交換では、各局から、老人保健事業と各保険者の保健事業の連携の推進などについて決意表明がなされるとともに、事業の評価について「中間年の二〇〇五年から始めるのではなく、今年度から継続的に行っていく必要があるのではないか」などの提案が出された。

なお、厚生省地域保健・健康増進策養課では、全国会議や推進協議会についてはできるだけ早期に立ち上げ、地方計画策定のためのマニュアルや国民に情報提供するためのホームページについては七月頃までに作成したいとしている。